

特別支援教育に関する 研修講座 シリーズ1

特別支援教育や応用行動分析の基礎・基本を学び、保育、教育現場での実践に活かすことができますので、ぜひご参加ください。

ご希望に応じて個別相談や学校等訪問を行います。今回(シリーズ1)の講義内容は、義務教育段階が中心です。

対象

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、療育機関に勤務される方

定員

20名程度(参加費無料)(各回)

日時

2022年

- ①10月14日(金)・ ②10月28日(金)
③11月 4日(金)・ ④11月18日(金)
⑤12月 2日(金)・ ⑥12月 9日(金)

全6回いずれも 18:00~19:30(内容は裏面)

場所

新見公立大学 NiU 新見駅西サテライト(新見市西方463-11)

講師

岡本邦広(新見公立大学地域共生推進センター/健康保育学科)

担当回:①、②、⑥(主に特別支援教育に関する内容)

高橋 彩(新見公立大学健康保育学科)

担当回:③、④、⑤(主に応用行動分析に関する内容)

お申し込み方法

パソコン・スマホから

新見公立大学

検索



お電話、本学のHP又はQRコードよりお申し込み下さい。

研修内容

① 令和に求められる特別支援教育(1)

「障害者の権利に関する条約」以降の特別支援教育に関する制度、ならびにインクルーシブ教育システム構築の実現に向け、理解しておくべき事項を整理します。

② 令和に求められる特別支援教育(2)

令和に提出された報告等から、特別支援教育を充実させるために必要な視点を整理します。

③ 行動の原理

行動の直後に好子や嫌子といったものが出現する、あるいは出現しないことによって、人の行動は増えたり減ったりすることを説明します。

④ 行動の機能

他者からの注目、自己刺激、嫌悪事態からの逃避、あるいは、ものや活動の要求を獲得するために、離席行動や私語等の行動が見られることを説明します。

⑤ 望ましい行動を増やす方法

分化強化、課題分析、トークン・エコノミーシステム、クラスワイドな支援、機会利用型指導法等の普段の実践で活用できる技法を紹介します。

⑥ 支援事例検討

上記①から⑤の知識を活用し、実践現場で見られる課題解決に向け、参加者で議論を行います。

研修の流れ

①～⑤

各回のテーマに沿った
講義・演習
(60分間)



実践現場の課題を取り
上げ、参加者で議論。
課題解決の手がかり
を見つける。
(30分間)

⑥

実践現場の課題を取り
上げ、参加者で議論。
課題解決の手がかり
を見つける。
(90分間)